

平成28年度印西市市民活動支援センター指定管理者事業報告書

平成29年 3月31日

印西市長 板倉 正直 様

所在地 東京都文京区後楽1丁目3番61号
指定管理者 株式会社東京ドームファンリティーズ
代表者職氏名 代表取締役社長 山田 幸雄

印西市市民活動支援センターの管理運営に関する基本協定書第26条の規定に基づき、次のとおり平成28年度の事業実施報告書を提出します。

1 管理運営実績

(1) 開館実績及び利用者数

平成28年度目標利用者数 8,500人、開館計画 291日

→平成28年度開館実績 291日 利用者数実績 9,402名 (目標比 110.6%)

月別詳細は別添2の通りです。

(2) 利用登録団体数等

平成28年度目標登録団体数 110団体 (前年度末 107団体)

→平成28年度末 117団体 (目標比 106.4%、前年比 109.3%)

2 維持管理業務の実施状況

(1) 施設及び備品の点検・滅失・き損・修繕の状況

①8/27 プリンターPX1700F フィーダー部爪欠損。

②11/12 プリンターLP-S4200 の部品劣化による印字不良発生。部品(定着ユニット)交換

(2) 備品の購入・調達 2月 CD ラジカセ購入 (既存の物が壊れたため)

(3) 保守点検 特にありません。

(4) その他特記事項 特にありません。

3 施設運営業務の実施状況

(1) 施設使用許可（取消）業務

① 活動室 詳細は別添 2 に記載

市民活動登録団体のみに使用許可し、平等な利用を遵守し、特定の団体が利益・不利益を被らないように致しました。

② コピー機・印刷機 詳細は別添 2 に記載

コピー機は 1 枚 10 円（一般にも開放）、印刷機は 1 製版 2000 枚毎に 50 円で登録団体に利用して頂き、団体の市民活動に対してのバックアップを行いました。

③ メールボックス

大のボックスは 20 団体、小のボックスは 13 団体が利用。

(2) その他各種許可業務（広告物掲示・配布等）

市の指示又は助言に基づき適切に判断し、許可を行いました。別添 2 に記載。

(3) 広報活動

① パンフレット チラシ 現存の A4 三つ折りのパンフレットをセンター内で配布。また、メールマガジンを年間 9 回（4/23・5/28・7/6・8/2・9/28・11/30・12/25・1/21・3/11）発信し、支援センター登録団体他各関係者宛にイベント・講座・助成金等の様々な情報を提供しました。だんごまつりチラシを参加団体の協力を得て、学校・公共施設等に配布しました。

② 機関紙（だんご通信） A3 二つ折りの機関紙を毎回 172 町会へ 3,000 部（回覧用）、公共施設 23 か所へ 1,000 部を配布。年間 4 回（6 月・9 月・11 月・2 月）発行しました。（別添）

③ 報道機関への情報提供

広域高速ネット二九六（佐倉ケーブルテレビ）団体紹介（4 月）

ケーブルテレビらーばんねっと 団体紹介・団体イベント・講座紹介・だんごまつり
（4 月～3 月毎月）

NHK「首都圏ネットワーク」 市民活動団体「慈雨の会」展示イベント紹介（12/6 放映）

(4) 市民からの意見等への対応

① 意見・要望受付 6 件 詳細は別添 3 に記載。

② クレーム対応 特に大きなクレームの発生はありませんでした。

(5) 相談業務

① 市民活動相談 団体より 104 件 詳細は別添 4 に記載。

② 市民活動相談 個人より 90 件 詳細は別添 4 に記載。

(6) 情報・パソコンコーナーの利用に関する業務

① パソコン・プリンタ 63 件 詳細は別添 2 に記載

受付横に配置し、登録団体・一般に対し、文書作成や文書プリントアウトなどの利用に開放。

② 掲示板等 138 件 詳細は別添 2 に記載

団体より市民活動に関するポスター・チラシ・リーフレット等の掲示物を受け付け、掲示板やパンフレットスタンドにより適切に管理しました。

(7) 作業コーナーの利用に関する業務

①コピー機・印刷機	コピー機	1,953 枚	印刷機 (2000 枚毎)	2,457 回
②コピー用紙・ラミネート用紙販売実績				
・コピー用紙	A4 173 冊 (@¥300)		A3 122 冊 (@¥700)	
・ラミネート用紙	A4 48 枚 (@¥20)		A3 57 枚 (@¥30)	

(8) 市民活動に関する情報収集・情報提供

① 市民活動関連情報の収集と提供

市及び登録団体から収集した情報をホームページ、だんご通信、メールマガジンにより幅広く情報提供を行いました。

② 市民活動情報 WEB サイトの管理・運営

ホームページを随時更新①イベント・講座、②だんご通信、③登録団体一覧、④施設と利用方法の紹介、⑤補助金・助成金情報等を発信しました。

(9) 市民活動支援事業（企画事業）

詳細は別添 1 に記載

(10) その他関連業務

① 記録業務

業務の遂行に必要な事業活動において、適宜記録し、検索可能かつ良好な状態で保存しました。

② 利用団体登録業務

6 月 15 日に現行の利用団体登録を更新。新規登録は随時行いました。

③ 交流スペース・活動室利用業務

交流スペース・活動室の利用が増えたため予約受付についてのルールを導入しました。

<2 ヶ月先予約受付ルールについて>

2 ヶ月先の利用申込が始まる毎月 1 日の朝 9 時からの受付については下記の優先順位にて受付を行います。

①直接支援センターで申込 ②直接電話で申込 ③メール又は FAX にて申込

④ 市との協力体制

ア 施設管理者

緊急連絡網等を作成し円滑な管理業務が遂行できるよう、十分な協力体制を図りました。

イ 市民活動支援関連部署

市民活動推進委員会（1 回出席）や印西市社会福祉協議会（夏休みボランティアの共催）との連携を図りました。

⑤ 調査研究業務

5-(3)に記載の通り、外部セミナーや研修に積極的に参加し、センター内には市民活動に関する関連図書を揃えました。

⑥ 利用者統計等作成業務

利用者統計に関しては「利用状況表」を作成し、毎月、市への報告を行いました。

4 自主事業の実施状況

〈社内研修〉 6/24 ヒューマンエラー研修
10/18 平成 28 年度 東京ドームシティ防犯講習会

5 運営体制の実施状況

(1) 労務管理

東京ドームグループコンプライアンス規定、就業規則を指針とし、関連法令を遵守致しました。

(2) 実施体制、人員配置、指揮命令系統、責任体制

〈実施体制〉

役職	勤務形態	氏名
センター長	常勤	宮本 律子
副センター長	非常勤	五十嵐 盛春
副センター長	非常勤	岡崎 孝子 (4月入社)
コーディネーター	非常勤	影山 貴大
スタッフ	非常勤	吉田 紀子(8月退社)
スタッフ	非常勤	渡井 公介
スタッフ	非常勤	石井 博美

〈人員配置〉

本来、常時2名体制が基本ですが、夜間利用の促進（昨年度6件→今年度104件）及び作業内容の充実を図った結果、年間事業日数291日に対して1日平均2.95人を配置しました。

〈指揮命令系統〉

事業計画の管理運営体制図に基づき遂行致しました。

(3) 研修等参加実績

〈外部研修〉 7/13 日本 NPO センター主催 NPO と行政の対話フォーラム
8/7 千葉県助成金活用セミナー
9/13・2/3 千葉県市民活動中間支援組織ネットワーク研修
〈社内研修〉 「4 自主事業の実施状況」に記載
〈スタッフ研修〉 4/13 接遇研修(新人)
5/13・6/17 接遇研修(傾聴)
7/20・8/17 NPO 法人について(1)(2)
9/17・10/15 CSR について(1)(2) (企業の CSR と NPO の SR について等)
11/12 個人情報の取り扱いについて
12/17・1/11 防災について(1)(2)
2/15 市民活動 Q&A
3/15 公益信託印西市まちづくりファンド・企画提案型協働事業について

6 一部業務委託（再委託）の実施状況

コピー機保守業務はコニカミノルタビジネスソリューション株式会社、印刷機保守業務はリコー
ジャパン株式会社、ホームページ作成業務は株式会社 DENXIN に再委託いたしました。

7 安全管理・危機管理の実施状況

(1) 事故・災害時発生時の対応

スタッフによる朝夕各1回の巡回点検を強化し、「声掛け」の励行により警鐘効果を高め、東京ド
ームグループの「自然災害対策初期措置マニュアル」をセンター内に常備し、「緊急連絡網」作成
により発生後の対応についても決めました。

(2) 保険の加入

①必須加入保険

施設賠償責任保険に加入（保険会社：損害保険ジャパン日本興亜株式会社）

保険金額：対人1名当たり1億円 対人1事故 3億円 対物1事故500万円

②任意加入保険

だんごまつりの際下記保険に加入（保険会社：損害保険ジャパン日本興亜株式会社）

「傷害危険補償特約セット普通傷害保険」保険金額：対1名当たり 500万円

「レクリエーション賠償責任保険」保険金額：対1事故 1億円

8 守秘義務及び個人情報保護の実施状況

(1) 守秘義務

業務上知り得た個人情報是不用意に第三者に漏らさないことを徹底。

(2) 個人情報保護

1/21 メールマガジンの配信で宛先の一部（26件）をCC配信。事故当日、市
民活動推進課へ状況と対応を報告。

（対応）配信当日に謝罪メール送信。配信前のチェック等再発防止策を翌日
より実施。この件に対するクレームはありませんでした。

(3) 情報公開

「印西市情報公開条例」に該当する案件はありませんでした。

9 モニタリングの実施状況

毎月、印西市市民活動推進課と打ち合わせを行い、日ごろの意見要望やクレームと事業計画の進捗
状況等を報告書にまとめ市に提出いたしました。また、主催事業の参加者や施設利用者にアンケ
ートを取り、アンケートの集計結果も月次で報告いたしました。（団体アンケート3件、講座アンケ
ート13件、利用者アンケート2件）

10 管理経費の収支実績

収入	9,890,350円
支出	9,869,359円
残高	20,991円

11 添付書類

平成28年度収支決算書別添5に記載

	事業名	事業内容	実施時期 及び期間	所要 経費 (千円)	事業効果	数値実績 (計画時目標)
①	広報活動 ・支援センター だより「だんご通信」 ・メールマガジン	市民活動団体の活動紹介や啓発記事を支援センターだより「だんご通信」として年 4 回発行し、自治会回覧や市施設への設置で市民活動の普及啓発を行います。 メールマガジンは、イベント情報や助成金情報などを登録団体を中心に不定期配信。	だんご通信 年 4 回 メールマガジン 年 9 回	150	「だんご通信」を定期的に発行し、団体紹介を行うことで団体のモチベーションアップに繋がった。またメールマガジンについては受信者よりお礼の返信を頂くなど、タイムリーな情報発信ツールとして団体とのコミュニケーションアップに貢献した。	だんご通信：回覧 3000 部・配布 1000 部 年 4 回発行。 メールマガジン：年 9 回配信。(目標：だんご通信 4 回・メールマガジン 8 回)
① ②	だんごまつり	印西市市制 20 周年記念事業・ちば県民活動 PR 月間 2016 賛同事業として市民活動団体の活動を市民に紹介。	11/26～ 11/27	220	市民活動の歩み、活動団体の活動、地域の歴史や自然環境などを広く市民に紹介し、地域資源や市民活動についてを考えるきっかけを提供できた。	来場者および団体参加者数 53 団体 11/26:1203 名 11/27:780 名 計 1983 名 (目標:55 団体・2000 名)
①	夏休みボランティア体験プログラム 共催:印西市社会福祉協議会	市民活動支援センターと社会福祉協議会の各登録団体による夏休み期間限定ボランティア体験受入。	7/18～8/31	30	団体の活動を PR することができ、ボランティアの啓発活動及び活動裾野拡大につながった。(体験者の一部がボランティア継続となった)	受入申出団体数:21 団体 参加者:延べ 80 人 9/4 ふり返りの会参加者:19 人(目標:25 団体、100 名)

① ②	登録団体パネル展示	1F ガラスケース内にて市民活動団体の活動をパネル展示で紹介します。安定した集客が見込める1F フロアで開催することで市民への啓発を行います。市民が活動に賛同、興味をもつことで、団体活動への参加や市民からの支援が期待できる。	年17回 263日	15	中央駅前交流館2号館、出張所入口横展示ケースへ展示。出張所への来所など不特定多数者への団体紹介の機会となった。	45 団体延べ 225 団体 (目標:30 団体)
①	地域デビュー講座①②	①豊富な活動実績のある方々から地域活動への入り方などを学ぶ。 (講師:NPO 法人小林住みよいまちづくり会理事長 高橋誠氏、NPO 法人いんざい子ども劇場理事長 津田晴美氏) ②市民アカデミー1 年生対象講座で市民活動について支援センター登録団体活動について紹介 (講師:宮本)	①9/28 ②2/18	10 3	①ボランティア、NPO などの市民活動を始めたいと考えているかたを対象に、活動への参加のきっかけづくりとなった。 ②地域活性化や課題解決について関心を持ち始めた人に対して市民活動の学びの場とし、市民活動担い手育成機会となった。	受講者: ① 14 名 ② 25 名 (目標:年 2 回・各 15 名)
①	ボランティア・NPO 関連なんでも相談	市民活動に関する疑問質問に応じる何でも相談会。 (講師:コーディネーター影山)	4/24 5/29 7/24 8/7・14・28 9/4・17・24・28 10/1・29 11/16 12/17 1/11・25・29 2/12・15・25 3/11・15・31 計 23 日	63	団体の様々な相談にコーディネーターが個別に対応することにより素早い問題解決が可能になった。	25 件、28 名 (目標:30 名)

①	(共催)市民活動 傾聴講座①②③④⑤⑥	市民活動やボランティアの実践に必要なコミュニケーションスキル(傾聴)を学ぶ。 (講師:NPO 法人子ども若もの支援センター小谷野氏)	①7/17 ②8/21 ③9/17 ④10/16 ⑤11/20 ⑥12/18	3	市民活動やボランティアを継続していく中で自身のスキルに不安や疑問、より深い知識を得たいと感じている方に学びの機会を提供できた。	受講者: ①21名②20名③17名④15名⑤12名⑥15名 (目標:年6回・各20名)
②	団体交流会	登録団体間の情報交換、情報共有の機会を目的とした懇談会。	4/19 8/23 9/21 10/20 11/11 12/24 計6回	4	4月に支援センターの新年度事業計画を説明。団体からの要望を把握することができ、事業運営に反映させることができた。また、だんごまつり打合せ会と反省会を利用しての懇親会を行い、団体間の情報交換の場を提供できた。	参加者: 6回述べ138団体160名 (目標:年2回・80名)
②	NPO マネージメント講座①②	①寄付者が増える、ワクワク系年次総会のつくり方を学ぶ。(講師:小山市市民活動支援センターセンター長 堀達哉氏) ②会員を増やすために効果的なホームページのつくり方(講師:菅 文彦氏)	①9/24 ②12/3	40 2	①団体として活動していくために、総会を楽しく実のあるものにする方法の学びとなった。 ②会員を増やすために効果的なホームページのつくり方を学びながら、IT活用と情報公開の意義を再認識する機会を提供できた。HP見直し1団体、HP新規作成1団体。	受講者: ①6名 ②23名 (目標:年2回60名)

②	団体支援なんでもミニ講座①②	団体からの要望に応じたオーダー方式のミニ講座。 ①コミュニケーションスキルアップ(講師:宮本) ②市民活動紹介(講師:宮本)	①7/3 ②2/8	0	①「団体主催の体験会開催時、初めての方にどう対応したらよいかコミュニケーションスキルをアップしたい」との要望に弱点の洗出しと対応方法を伝え活動に自信を持ち臨めるようにした。 ②印西ロータリークラブ例会での卓話の時間に市民活動の紹介を行った。印西での市民活動の推移や様々な協働事業での効果を事例紹介。	受講者: ①1名②16名 (目標:各5名)
②	協働事業支援講座	協働事業提案を考えている団体へのサポート講座(講師:コーディネーター影山)	6/19	3	今年度の協働事業について市の資料を説明。協働事業提案のポイントと団体の強みは何か、どのように協働を構築すればよいのかを伝えることができた。	受講者:7名 (目標:30名)
②	助成金申請のコツ	印西市まちづくりファンドフォローアップ説明会&個別相談会(講師:コーディネーター影山)	12/25	9	平成29年度の助成事業について、申請時のポイント・留意点について、わかりやすく個別に説明し、相談に応じた。	受講者:7名 (目標:10名)

③	みんなでまちづくり講座～協働～	ボランティア団体、NPO、自治会・町内会などさまざまな団体が、力を合わせて取り組むことが大切。今年には防災をテーマに協働について皆で考え、ともに理解を深めていくためのセミナー。(講師:コーディネーター影山)	5/22	3	テーマの防災に関する夫々の意見・想いを聴くことにより、相手を理解し、協働すべきことは何か、どのように協働を考えたらよいかを皆で考えることの重要性を伝えることができた。	受講者:7名 (目標:10名)
③	みんなでまちづくり講座～防災～	みんなの防災教室と題して、自治会・市民活動団体が協働する必要性を防災を介して啓発。(講師:SL 災害ボランティアネットワーク千葉 石橋氏)	7/24	40	いざという時の身の守り方、応急手当やロープワーク等を親子で学ぶ機会となった。また、災害に備えて日頃から協働していくことの大切さを学んだ。	受講者:17名 (目標:10名)
③	(共催)みんなでまちづくり講座～傾聴～	病気・障害に対しての偏見や誤解をなくすために活動している方からお話を聴きながら、傾聴技法を学ぶ講座。(語り手:しらゆりの会亀山氏 聴き手:ピアサポートグループワンダウ 西垣氏)	12/10	8	病気を持つ子の父親としてどの様な思いで暮らしてきたのかを聴き取り、病に対する理解を深めると共に傾聴技法について学ぶことができた。	受講者:15名 (目標:10名)
③	みんなで考えるまちづくりコーディネーターのあり方講座①②③④⑤⑥	まちづくりコーディネーターは、どんなことをするのか?協力してまちづくりに取り組むには、共に手をつなぎ、共に考え、共に歩んでいくことが大切。(講師:コーディネーター影山)	①5/7 ②6/4 ③7/9 ④9/17 ⑤10/15 ⑥11/12	18	市民活動、まちづくり活動に関わっている人、関心のある人に対して、出会い・仲間づくりの機会となった。	受講者:①7名 ②6名③8名 ④11名⑤4名 ⑥6名(目標: 年6回・各15名)
③	まちづくりキーパーソン交流会講座 (平成28年度事業計画地域課題解決・交流サロン「車座だんごカフェ」)	まちづくりコーディネーター講座受講者を中心に市民活動の実践を考え行動に移すための交流会(講師:コーディネーター影山)	3/11	2	地域活性化や課題解決について関心を持つ人に対して、市民活動担い手育成機会となった。	受講者:9名 (目標:15名)

※事業計画外の実施事業

	事業名	事業内容	実施時期 及び期間	所要 経費 (千円)	事業効果	数値実績 (計画時目標)
②	(共催)チェーンソー講習会	ラーバン千葉ネットワークによるチェーンソー操作資格取得講座 (講師:千葉県森林組合 木村氏)	3/18～ 3/19	0	団体イベントを共催で実施することによる活動支援とともに市民への環境保全および安全管理の重要性を広報できた。	受講者:12名
②	(共催)身近な野鳥観察の勧め	印西ウエットランドガイドによる里山散策とミニ講座 (講師:印西ウエットランドガイド・阿部氏他)	2/21	0	団体イベントを共催で実施することにより、活動支援とともに市民への地域資源を広報できた。	受講者:65名 (参加者 48+ 団体印西ウエットランドガイド 17)
②	登録団体の展示イベント	①支援センターロビー展示 11/30～12/4 ②1階ガラスケース展示 11/30～12/15 ③活動室にてのイベント展示 12/3・4	11/30～ 12/15	0	登録団体「慈雨の会」の犯罪被害者支援に関するイベント展示活動を効果的に行うことができた。	展示イベント 参加:12/3 20 名 12/4 17名 12/3 NHK 取材 12/6 首都圏ネットワーク で放送⇒1階 ガラスケース 展示への来所 者多数。他団 体の問合せ で、センター配 備のDVD 視 聴となった。
④	インターンシップ受入	県立我孫子東高校インターンシップ受け入れ	11/22～ 11/25	0	主にだんごまつりの準備応援により市民活動支援センターの活動を理解してもらえた。	2名

※事業項目は、①市民活動の普及・啓発事業、②市民活動団体への支援事業、③協働の啓発・普及に関する事業、④その他とする。

印西市市民活動支援センターの管理運営に
 関する収支決算書（平成28年度）

税込（単位：円）

項目		項目	予算	実績	比較
項目	収入	市からの委託料	9,608,000	9,608,000	0
		印刷機利用料（一般貸出用）			
		コピー機利用料（一般貸出用）	204,000	282,350	78,350
		用紙販売			
		パウチフィルム販売			
収入合計（A）			9,812,000	9,890,350	78,350
項目	人件費	責任者人件費			
		コーディネーター労務費	7,500,000	7,466,028	-33,972
		夜間運営費			
	事務費	旅費交通費			
		研修費			
		通信費	440,000	305,289	-134,711
		事務用品費（消耗品）			
		交際会議費			
		求人教育費			
	事業費	事業経費（講座費）			
		広報発行（だんご通信等）	1,000,000	878,831	-121,169
		だんごまつり			
	管理費	管理運営費			
		電話・回線使用料等			
		設備機器保守管理費	872,000	1,219,211	347,211
施設賠償保険料					
本社経費					
支出合計（B）			9,812,000	9,869,359	57,359
収支(A)-(B)			0	20,991	20,991
備考	研修にかかる人件費は、責任者・コーディネーター費に含まれております。				